

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：25001

学校名：豊平小学校

	令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果	分析	
体力・運動能力 <男子>	○握力 ○立ち幅跳び →全国平均をやや下回っている。	○長座体前屈○上体起こし ○反復横跳び○20mシャトルラン ○50m走 ○ソフトボール投げ →全国平均を下回っている。※札幌市の平均値も下回っている	全体的に全国および札幌市の平均を下回っており、種目をしぼるなどして、重点的に向上を目指す取り組みが必要。
体力・運動能力 <女子>	○握力○上体起こし →全国平均をやや下回っている。 ※上体起こしは札幌市平均値を上回っている。	○50m走○ソフトボール投げ○長座体前屈○反復横跳び ○20mシャトルラン ○立ち幅跳び→全国平均を下回っている。	全体的に全国および札幌市の平均を下回っているが、上体起こしのみ市の平均を上回っており、他の種目でも同様に、まずは市の平均を超える取り組みが必要。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	○体育の授業は楽しい、やや楽しい →男子：76.9%/23.1% (全国 73.7%/20.9%) 女子：54.1%/32.4% (全国 56.9%/9.4%) 全国平均を大きく上回る	○いつも、だいたい進んで学習に参加している →男子：70.4%/22.2% (全国 59.6%/34.7%) 女子：41.2%/44.1% (全国 50.7%/41.3%)	男子は全国平均を大きく上回り、女子は、平均がそれ以上の結果。授業に向かうよい姿勢を、新体力テストに生かせるとよい。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自らの健康づくりを図る取組の充実
-------	-----------------	-----------------------	-----------------------

具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○課題探究的な体育授業の工夫 (運動が苦手な児童にも楽しんでもらえる授業、運動嫌いな児童を「好き」にさせる授業) * ルールや作戦を子ども自身が工夫して楽しめる授業展開の工夫 * 教材や課題設定、目標の工夫 ○運動量を確保するための工夫 * 休み時間の有効活用 ○マット・跳び箱運動週間などのチャレンジ週間の設定 * 他学年による教え合いの場の設定 ○子ども自身で工夫し考え、運動を楽しめる 	<ul style="list-style-type: none"> ○年間を通したグラウンド遊び、体育館遊びの推進 (三間の創出～時間を確保する、空間を整える、仲間を組織する～) ○家庭との連携 ○環境整備の継続 * 児童が安心して遊び、運動やスポーツ活動に取り組める環境づくりの確保 * 週1回中休み運動チャレンジ設定 * 学校・家庭・地域の連携で児童の運動量確保。 * そりすべりやチューブすべりの準備等、冬期間も外で体を動かしたくなる環境設定 * 中休みの確実な確保 * グラウンドの放課後の開放 	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的生活習慣の確立 * 健康的な運動、児童委員会と連携した生活習慣づくり・感染予防のための習慣作り ○食育の推進 * 給食の時間や教科・特別活動の時間における食に関する指導の充実と「給食だより」による情報の発信 栄養教諭と連携した授業づくり ○心身の健康の保持増進や自他の生命を大切にす態度の育成につながる保健指導・性に関する指導の実践 * 「保健便り」「全校朝会」などによる情報の発信 発達段階に合わせ、養護教諭・外部講師と連携した授業づくり
--------	--	---	---

家庭・地域との連携・協働 「家庭や地域との関わり」の一層の充実を図り、学校が家庭や地域と一体となって、子どもの「健やかな体」の育成を継続して支えていく。
⇒札幌らしいコミュニティ・スクールの仕組みを活用し、運動を主とした PTA レクリエーション等に、子どもの声を反映させて取り組んでいく。

